

YOSHIMARU KAZUMASA

生誕

150周年記念

吉丸一昌

プロジェクト

沿革

「吉丸一昌」(1873~1916)

- 明治6年(1873年)
9月15日、父角内、母ノブの長男として大分県北海部郡海添村(現臼杵市海添)に生まれる。
- 明治12年(1879年)
臼杵尋常小学校へ入学。家が貧しく苦学しながらも、向上心に燃え、一生懸命に勉学に励み、優秀な成績で大分県よりたびたび表彰されています。
- 明治23年(1890年)
大分県立大分中学校(現上野ヶ丘高校)へと進学。日豊線はまだ開通していなかったため、大分市内に下宿し、土曜日になると臼杵に帰り、日曜日の午後には大分まで徒歩で往復する学生生活を送っていました。
- 明治27年(1894年)
熊本第五高等学校(現熊本大学)へと進学しました。此処での夏目漱石との出会いは、後の吉丸一昌の進路を決定づけています。
- 明治31年(1898年)
東京帝国大学(現東京大学)国文科へ。この頃より、一昌は「修養塾」という私塾を開塾し、少年10名程と生活を共にして、勉学はもとより衣食住から就職に至るまで世話をしています。また、東京で丁稚奉公している田舎出の少年や中学へ行けない者の為に、下谷中学夜学校を開塾しています。
- 明治34年(1901年)
東京府立第三中学校(現両国高校)の教諭(国文・漢文)になりました。ここでは芥川龍之介を教えています。
- 明治41年(1908年)
東京音楽学校(現東京芸術大学)の教授に招かれて生徒監に任命されています。又、文部省より「尋常小学唱歌」の編さん委員で作詞の主任に任命されています。
- 明治45年(1912年)
童謡の先駆となる「新作唱歌」(~大正4年まで)全10集を発表。この中にあの「早春賦」「故郷を離るる歌」「木の葉」等があります。吉丸一昌は200とも、300とも言われる程の歌を作っています。また、中山晋平、大和田愛羅、本居長世、弘田龍太郎、船橋栄吉、山田耕筰など数多くの若い人材を育てています。
- 大正5年(1916年)
3月、43歳の若さで他界しました。

臼杵が生んだ偉人
文部省唱歌の創始者



臼杵市教育委員会所蔵

9/2・30 所縁の場所をめぐる

クイズラリー



場所 八町大路周辺 (参加無料)
時間 9月2日(土)11:00スタート
9月3日(日)~9月30日(土)9:00~18:00
全問正解者の中から抽選で100名様10「臼杵お買物券(3,000円分)」又は「うすまの地ものセット」が当たります!

クイズラリーコース

①サーラ・デ・うすき(スタート)→②旧真光寺→③久家の大蔵→④臼杵図書館→⑤大手門公園・吉丸一昌像→サーラ・デ・うすき(ゴール)

9/2 コンサート

150年バトン~あの音色を現在ここで~

場所 カニ醤油駐車場 (雨天中止) 12:30~ 田口千里

時間 11:00~〈無料〉

11:00~ ステレオ少年 11:45~ storyteller 13:15~ 中村慎吾

9/2・30 臼杵が生んだ偉人

「吉丸一昌」特別展示会

場所 サーラ・デ・うすき〈入場無料〉
時間 9:00~18:00 問合せ 0972-64-7271

9/18 第25回大分県民芸術文化祭行事

臼杵が生んだ偉人 生誕150周年記念公演 「吉丸一昌音楽祭」

~時代を超え今なお愛される作詞家~

場所 臼杵市民会館大ホール〈入場無料〉
時間 13:30(開場) 14:00(開演)
主催 臼杵市文化連盟
問合せ 臼杵市文化連盟/090-9070-4633(安藤)

故郷を離るる歌

詩/吉丸一昌 曲/ドイツ民謡

吉丸一昌が生まれ育った、臼杵市海添の風景を思い浮かべながら故郷を去る時の、臼杵が懐かしくて仕方がないという心情が込められた歌。

1 園の小百合 撫子 垣根の干草

今日は汝をながむる 最終の日なり

おもえば涙 膝をひたす さらば故郷

さらば故郷 さらば故郷 故郷さらば

さらば故郷 さらば故郷 故郷さらば

※生まれ育った海添フケの生家の庭を思い浮かべながら、座り込んで涙を流す。

2 つくし摘みし岡辺よ 社の森よ

小鮒釣りし小川よ 柳の土手よ

別るる我を 憐れと見よ さらば故郷

さらば故郷 さらば故郷 故郷さらば

さらば故郷 さらば故郷 故郷さらば

※幼い頃、父に付いて行き遊んだ万年溪(万四六谷)や海添川の傍にある神社とお寺の森、海添川の棧の手前、坂本橋に隣接していた柳の土手、其々幼少期遊んだ場所を思い浮かべて歌っている。

3 此処に立ちて さらばと 別れを告げん

山の影の故郷 静かに眠れ

夕日は落ちて たそがれたり さらば故郷

さらば故郷 さらば故郷 故郷さらば

さらば故郷 さらば故郷 故郷さらば

※六ヶヶ迫から御所峠へ登る途中の、山の間から最後に見える海添の夕暮れ時、さらば故郷と歌っているが、さらば海添と歌いたかったのでは?!